

Season In The CUDO

winter 2022

ご挨拶

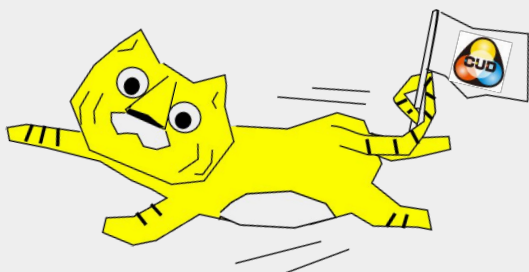
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 / CUDO
理事長 武者 廣平

新年明けましておめでとうございます。
CUDOも創立18年目に入りました。多くの方々のご支援・ご協力を賜りながら命題である「CUD社会の実現」向かってこれからも一步一步前進して参ります。
我々の様な社会活動は途切れることなく継続させて行かねばなりません。また、更により広く、より多くと、社会への浸透発展に努めることがNPOとしての社会的意義と考えています。

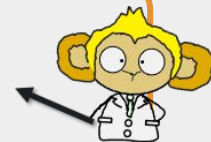
昨年、目標達成への大きな力となる賛助会員数も300名超えを果たし、会員による自主運営のCUD友の会も更に充実して来た様です。
遠距離の方々とのコミュニケーションも向上し、中心となる東京CUDOの活動や情報にアクセスすることがスムーズになってきた様にも聞いております。

オミクロン株による第6波到来の予測もございますが、本年CUDOは共に歩んでくれる仲間づくりをより一層活性化しよう！ということで事務局一同知恵を絞り、誠意企画しております。今後も皆様のよりアクティブなご参加・ご支援を賜れば幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



『カラーユニバーサル デザイン検定』 いよいよスタート！



皆様よりご要望いただいていた「カラーユニバーサルデザイン検定」を2022年、開始いたします。カラーユニバーサルデザイン検定は「知る」「できる」「コーディネートする」の3つから成り立ち、レベルアップ形式になります。

カラーユニバーサルデザイン検定

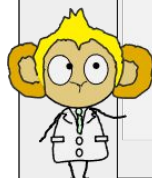
3級 入門編 (基礎)

ステップ
アップ

2級 実践編

ステップ
アップ

1級 コーディネータ編



「3級」: はじめてのCUD(入門編)

知っておきたい！色覚タイプとカラーユニバーサルデザインの基本を学ぶことができます。家庭や学校などの環境づくり、対応の仕方、製品を作る際にお役立てください。これまでCUDOにいただいた色覚やCUDに関する質問や相談に応える内容にもなっています。2022年6月～(予定)

「2級」: CUD実践編

カラーユニバーサルデザインのより詳しい知識と実践方法を学ぶことができます。2022年10月(予定)

「1級」: CUDにコーディネート編

カラーユニバーサルデザインにコーディネートするときに必要なノウハウを学ぶことができます。2023年度開始(予定)

* 各検定の募集はCUDOサイトにて行います。

【ひとつの色世界】～多様な色覚の作品展示～ ご
応募ありがとうございました。

P型やD型色覚の人たちの作品を集った『ひとつの色世界』を開催(2012年12月)。募集では「C型色覚の人に『どう見えるか』を意識せず、自分が感じるままに描くことを自由に楽しもう!」と、呼びかけたものの「自分が感じるままに...って言われても」といった戸惑いの声。そこで”色名を見ないで描く”ことを作品ルールに加え再募集をしたところ、子どもや女性など多くの方からの作品が集まりました。

「C型の人にわかるように忖度していたことに気づいた!」「描いているうちに、子どもの頃のように描くことが楽しいと感じた」「他の人にどう見えるかを意識しなくていいというので、めっちゃ楽しかった!!」と感想を述べた参加者も。作品を高評をされた市原恭代先生(工学院大学情報学部情報デザイン学科教授)「素晴らしいかった!それぞれの色の世界の美しさを楽しむことができた。この作品展を世界へ広げていきましょう」と感想。

* 作品はCUDOサイトでご覧いただけます。

ポスターでCUD普及に参加できる!

【CUD普及ポスター展】

第2回CUD普及啓発ポスター展を開催(2021年12月)。作品は、2022年度のイベントなどCUD普及活動において使わせていただきます。第3回は秋を予定しています。引き続き、お力添えをよろしく願います。



2021年度「グッドデザイン賞」受賞
おめでとうございます!

GOOD DESIGN AWARD 2021において、CUD認証を取得した製品、また、CUDの考え方を取り入れたシステムが「グッドデザイン賞」を受賞されました。

● 東邦電機工業(株) / 「踏切警報灯」
* CUD認証取得製品

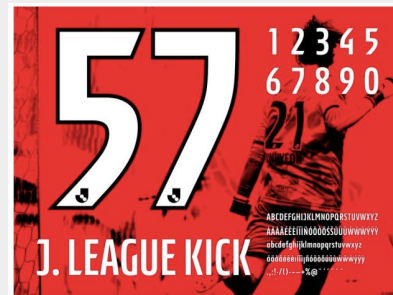


【デザインのポイント】

1. 鉄道信号業界初となるカラーユニバーサルデザインの踏切警報灯を、全方向形で実現。
2. より多くの人が発光を認識しやすい発光波長のLEDを使用。
3. 赤色が認識しづらい色覚の方が検証員を務める第三者評価の認証を取得。

● Jリーグ

「Jリーグオフィシャルネーム&ナンバー」



カラーユニバーサルデザインの考え方を取り入れユニフォームとのカラーコントラストに一定の基準を設けるなどの取り組みを2021年より導入したデザインシステムが評価されました。

【デザインのポイント】

1. スタジアム・テレビ・スマートフォンなど様々な感染環境に対応できるように磨き上げられた可能性と判別性
2. カラーユニバーサルデザインの方法論による、色覚特性を持つ方々でも見やすく調整された配色構成
3. サッカーでも最も美しいテクニックのひとつであるカーブキックに着想を得た独創的なデザイン

認証 CUD認証製品の紹介 -その1-

**認知機能を鍛えるカードゲーム
「COGET コ・ゲット」**

勉強が嫌い、苦手な子どもでも遊びながら脳カトレニングができる。大人気の「コグトレ」が医学博士、宮口幸治監修のもとカードゲーム『COGET コ・ゲット』になって登場。
ベストセラー『ケーキの切れない非行少年たち』で紹介された「コグトレ」。「見る・覚える・数える」力を育むゲーム3種類をセットに。カード両面抗菌加工で安心して遊べます。



認証 CUD認証製品の紹介 -その2-

「スコラ手帳シリーズ」

株式会社NOLTYプランナーズが中高生向けに提供している「スコラ手帳シリーズ」が、2022年度版よりCUD認証を手帳として初めて取得されました。

「自ら学び、考え行動し続ける力の育成」をコンセプトに中高生向けに開発された手帳です。現在、全国の中学校・高等学校980校に導入され、2021年度版はシリーズ累計約31万人が活用されています。



報告

**第4回できる。できない。じゃない！
やってみるんだ！展**

東京杉並区でアートを通じて、障がいの有無関係なく誰もが参加できるアート作品展示とワークショップが開かれました(10月24日)。
地域、一般からの作品も集まり杉並区をこえ全国に広がりつつある障害福祉と一般、地域をつなぐイベントです。障害福祉事業所、主に放課後等デイサービスに通う子ども達と、そこで働くスタッフさんとが一緒に作った作品を杉並区中心に集めて展示。



CUDOは色覚模擬フィルター『パレット』を用いて町歩き体験を行いました。街中の標識や地図、駐車場の表示器など配色の分かりやすいパターン、分かりにくいパターンをそれぞれ確認。普段とは違った色の世界に驚き、CUDの重要性に気付いていただけました。

**『色』は
トラの戦略？**



「ダーウィンが来た！」
(NHK番組)に協力。

昨年末「お正月のダーウィンが来た！で鹿の色覚を題材にするのだが、内容について監修して欲しい」との依頼が舞い込みました。猛獣界最強とされるトラの体を徹底分析。「色」に秘められた戦略を大実験する中でトラの模様は鹿の色覚には見えないようにしているというのだが、この検証を行いたいという。鹿の色覚とそれを人が体験する方法について、言葉の使い方や留意すべきところについて意見を出しご採用いただきました。



(左写真)“お正月特集トラ最強伝説”ゲストの俳優 菅田将暉さん。鹿の色覚を疑似体験できるメガネをかけ「トラが見わけにくい！」と驚いたところ...

サイト「CUDを語る会」のご紹介

「CUD友の会」は、新たな可能性を探るためCUD友の会の定期開催の活動から実験的に独立した「CUDを語る会」サイトをオープンしました。

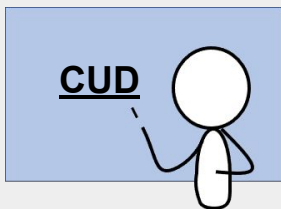
CUDを語る会とは？

CUDIに関わる日頃の活動紹介やCUDへの思い、こんなことやってみたい！という夢、希望などをカタリストに短い時間で語っていただく場です。

カタリストとは？

CUDを語る会に参加した聴衆者にむけお話しいただく登壇者(スピーカー)を呼びます。また、英語にはCatalyst(カタリスト)という言葉があり「媒体」を意味します。CUDに関心のある人たちや物事をつなぐ媒体になってもらえたら、という意味を込めました。

- ・毎月第3土曜日 午後13時～13時45分／無料
- ・オンライン(Zoom)
- ・カタリスト:各回5名以内
- ・登録制
(匿名・ペンネームOK)



東京小平市が色の見え方の多様性について理解することを目的に全4回の講座を主催。伊賀公一副理事長が「色との上手な付き合い方」をテーマに講師を務めました(11月

19日)。学生や美術の先生・会社員・色弱の子どもをおもちのご家族などが参加し熱心に受講。まともに行った「ポスターの配色塗り」は色覚の多様性に対応した、様々なポスターができあがりました。

●今年オンラインで日本中の人とつながっていきます！勉強会・講座のご依頼をお待ちしております！！

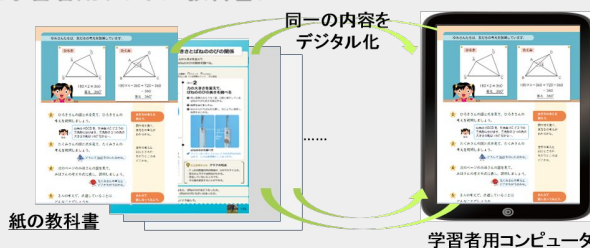
● **オンライン「勉強会・講座」のご依頼**
CUDOサイト「お問い合わせフォーム」まで

！教えてください！

小学校「デジタル教科書」の不安・要望

2019年4月より小学校の紙の教科書の一部をデジタル教科書に代えて使用することが認められることになりました(学校教育法等の一部改正する法律による)。

<学習者用デジタル教科書>



学校の授業が大きく変わるにあたり「色覚の多様性に対応されているのでしょうか？」といった心配の声も増えてきました。そこで、デジタル教科書の使い方、授業の進め方について現状調査を行うことになりました。P型やD型色覚のお子さんが、先生や生徒とのやりとりの中で「こんなときに戸惑った」ことを教えてください。

色覚タイプによっては、見分けられない色づかいがあり、「色分けされていることに気づいていない」こともあります。

お気づきの点をCUDOサイト「お問合せフォーム」までよろしく願いいたします。

-編集後記-

今年の活動計画を考えていると、ふっと昨年に放送された「恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～」(日本テレビ系)を思い出した。弱視で白杖を使うヒロインとヤンキーとのラブコメディーだ。ドラマを楽しむ中で弱視の人の視点、生活の中での不便さや工夫を初めて知った人、健常者が作り出している不便さや危険にハッとした人もいるだろう。心を動かされたひとは私である。

CUDOは、これまでに楽しみながら「色覚の多様性+CUDの重要性」を知っていただくことも模索してきた。スポ根(スポーツ根性)ドラマはどうだろう？気球からチラシを撒いてはどうだ？

そうした大きな力はない...だが、CUDOにとって、会員の皆様のご支援が大きな力なのである。

これまでのご支援を心より感謝申し上げますと共に、本年もよろしく願い申し上げます。